

九条だより

第 155 号

北広島九条の会 2020・11・01 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ www.kitahiro9.org

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

11 月例会のお知らせ

11月8日(日) 午後2時～ 住民センター

スガ政権が発足して1カ月です。いま大変憂慮すべき重大な事態が続いています。スガ政権の強権的な実像が現われてきました。

「スガ政権と野党共闘」

お話 神保 大地さん 弁護士

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

訃報 当会共同代表佐藤将さんが10月6日に亡くなりました。長きにわたって共同代表の任に当たり、「改憲を許さない」市民運動に尽くされました。心からご冥福をお祈りします。

☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

10月11日、第14回総会で新しい共同代表が選出されました。

松島 信義さん 伊藤 迪子さん 山崎 信勝さん

どうぞ宜しくお願い致します。

☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

第14回総会 記念講演

医師・パレスチナ医療奉仕団 猫塚義夫さんの講演

『中村哲さんから学ぶ 憲法 アフガニスタン パレスチナ』

昨年12月、中村哲さん銃撃のニュースは日本中に衝撃をもたらしました。繰り返される暴力による平和活動への妨害と奇抜な人材の喪失ですが、自らの命や利害を超えて他者に尽くす確かな存在への希望は冷めることなく、中村哲さんは今なお多くの人を惹きつけます。

猫塚義夫さんは、パレスチナ医療奉仕団結成にあたり関わりを持った中村哲さんの人となりや思い出について、また10年に及ぶガザ地区での活動経験についてお話しされました。

<中村哲さんのこと>

中村哲さんは、地元では名士の生まれです。母方の祖父は、福岡で港湾労働者を組織した玉井金五郎さん、その長男は、金五郎さんをモデルにした小説「花と竜」などの代表作をもつ著名な作家火野葦平さんです。哲さんは、この祖父の気骨と、伯父の文学的才覚を譲り受けたのかもしれませんが。国情不安定なアフガニスタンで医療行為のみならず、井戸を掘り、用水路を引いて命の水の確保に奔走し現地の人に寄り添った中村さんは、信念を貫く行動派

であり、同時に、人の心に響く、行動指針ともなるような言葉を数多く残しました。憲法 9 条について、次のような言葉を残しています。

「憲法は、我々の理想です。理想は、守るべきものじゃない 実行すべきものです」。「憲法 9 条は、近代の歴史を背負う金字塔。しかし同時に『お位牌』でもある。戦闘員 200 万人、非戦闘員 100 万人、あの戦争で亡くなった約 300 万人の人々の位牌なのだ」と。

猫塚さんは札幌での講演会にお呼びした中村哲さんの人格に直に触れ、その多くの言葉に強い影響を受け、それがパレスチナ医療奉仕団の活動の力となっていると紹介しました。

<ガザ「世界最大の天井のない監獄」とパレスチナ医療奉仕団のこと>

イスラエルが、ガザ地区を「完全封鎖」して 13 年になります。札幌の 1/3 ほどの面積 (360 m²) に 200 万人のパレスチナ人を押し込み、陸上は境界に壁を張り巡らせ、上空と海側もイスラエルが支配しています。外部との連絡を絶たれ、物資の慢性的不足、とりわけ燃料不足による停電 (通電 3~4 時間/1 日) は深刻で、気温 50℃に達する地で食物は腐敗し、污水处理ができないため水質は悪化を極めています。パレスチナ人には軍法が適用され、軍などからの人権を無視した蛮行が常態化し、抵抗すれば刑務所行きです。貧困と失業、銃撃などの暴力による障がい者の増大に加え、麻薬の蔓延や身売りの現実もあります。

2008 年~2009 年のイスラエルのガザ侵攻によるあまりの惨状を見かねて、猫塚さんは現地で医療支援を行うことを決意、2010 年にパレスチナ医療奉仕団を結成しました。その活動は、日本国憲法前文の理念に根差し、全ての人が平等に人権を尊重され、平和的生存権が保障される、それゆえに、非武装・非暴力の人道支援に徹していると言います。

国際外交により、ガザの封鎖解除、国際法違反への適正な処断、パレスチナの国家承認などで、パレスチナ問題の解決が必要です。日本は、アメリカ追随型の親イスラエル政策をとり、イスラエルに軍事技術を輸出しています。他人ごとではなく、自分事として、すべての人の人権問題として、「生活の 1 パーセントの関わり」を、と猫塚さんは訴えます。

2015 年から、子ども支援も始めました。生まれたときから戦時下にあるガザの子どもたちは、もちろん養育も教育も十分ではないからです。絶望と思える状況ですが猫塚さんは希望を抱いています。中村哲さんの「最初は小さなことでも継続すれば、現地の住民との信頼関係が生まれます。」の言葉通り、パレスチナ医療奉仕団は、その活動 9 年目にしてやっと、現地との信頼関係を勝ち得たと結びました。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎お知らせ 市民の戦争体験を伝え

る『バトンタッチ』第 8 集が刊行されています。頒価 300 円、ぜひご覧ください。戦争時の体験をお聞かせください。

◎ホームページへの投稿を呼びかけています。「憲法と私」のコーナーです。形式は問いません。イニシャル掲載です。

◎募金のお願い。当会は会員制をとっていません。皆さまの浄財が頼りです。是非ご協力をお願いいたします。

郵便振込み口座・北広島九条の会

02790-9-65384

平和五七五 (灯火会) の句会から
猛暑なり水しぶき浴び茄子光る 草子
朝野球かけ声元気夏さなか 久枝
畔径や揃ひて泳ぐ赤トンボ 多加正
何求め熱き舗道に干る^{ほせ}蚯蚓^{みみず} 容子
今日の月子に沿いながら見え隠れ月子
連作
炎天のわれも一樹となつてゐる 泉
炎天の影ただ黒くひた走る 稔典